様式2 住宅借入金(取得)等特別控除額の計算明細書(再び居住の用に供した人用)【未定稿】

平成15年分 住宅借入金(取得)等特別控除額の計算明細書 (再び居住の用に供した人用)

	٥ :			の書き	方につ	ついて	ては、ま	提出月	の二	面及び	控用の	合に使用 の二面を めの書類	参照し	して・				に提	出しっ	てくだ	さい、)		
1	f	主所	及び	氏名	i								(共社	有者の	の氏名	ዷ)								
\bigcap	郵便番号 -												71)	ガナ										
1	主 所	1											氏	名										
L			話番号		()						711	ガナ										
-	7リガナ 																							
T.	氏名													名									_	
_ر	(再び	再び居住の用に供したことに係る参考事項)																						
[•	K	居		年	月	E	∃ ∓	P成	4	羊	月	日												
F	耳 尼	号 住	開	始	年月	1 E	∃ ∃	P成	4	羊	月	日												
1					てい			_	賃貸	の用	平成		Ĕ,	Ę] ~	<u> </u>	P成		年	J	1	日		
L	明晶	1) O) 家		の 月	i 道 ——	金 [空家		Ц.	その他	() —	
2	! \$	新築	又は	購入	した	た家屋等に係る				事項				3 増改築等					をした部分			た係る事項		
Ĺ				\perp	家屋に	:関す 	「る事」	頁 ——	土力	也等に関	する	事項	居	住	開力	始	年月	月日	Đ	平成	年	月	日	
F	ま住!	開始	年月1	1 (C) 平成	年	三 月	日	(平原	女 年	月	日)	tei	砂架	. 等 (の専		の額	0				μ	
I	 权得	対化	15の 4	額 (2)	0			円	a			円				-	, , 14	-> 100	Ľ					
F				+	-			m²				m²		うち	居住)	用部	分の	金額	3					
*	急(——	床)	面和	費)				0											るとき				
			用部分)面和)				(b)						上七世ます。	人	ⓒ(月)	く付ける	子行列	J控除 [。]	と気り	するこ	C 73	
4				晋().)要否																			
Ĺ		17、10寸		141+ E	に七瀬は	サップラ	= 00 total	ひたら	な1十2	7-11 t	## K4> ⇒1	明書の	マイナメ	上班 。	r z t	=1+	#1	ハサウ	· **	7.00				
		んでく	くださ		F末調 雪	整でこ 	この控 	除を§	受ける	ため、扌	空除訓	明書の	交付を	要	する力	すは、	右	の文字	を (⊃で		要す	る	
5	 ; 1		ださ	٥, ١								調書の記載当する							* を ○	⊃ で		要す	る	
r	住名	住宅	ださ 借入 入金	い。 金()	取得)の(②	等特						該当する ※ 「伯	。算式 宅借	によ	: り計 : (取 得	算 l	ま~ !特 別	ナ。) リ 控除	の計	つで で	礎と	なる住	宅信	
r	住名	住宅	ださ 借入	い。 金()	取得)の(②	等特						該当する ※ 「伯	第3 宅借 等の4	によ 入金 年末列	: り計: (取得 残高 の	算し 算し等 分割に	まで 1年9月	す。) 別控除 細書」	の 計 1 を使	車の基	礎と	なる住	宅信	
	住宅	住宅	ださ 借入 入金	い。 金(等() () ()	取得)の額	等 物		空除 于入	額の金貨金	計算		該当する ※ 「伯 入金	第3 宅借 等の4	によ 入金 年末列	: り計: (取得 残高 の	算し 算し等 分割に	まついまでは、ままり、ままり、ままり、までは、までは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり	す。) 控除 控書] 記しる	の計 を を ます。 入金 (車の基	破と湯合は等特	なる付 こは、 別控	宅作その	
-	住年末居住 平成1	住宅 借票 の用 1年1	借入 高の (に供し	い。 金(X 等計 を た 日 り	取得)の額等	等 物	持別 指	空除 于入	額の金貨金	計算		該当する ※ 「伯 入金	第3 宅借 等の4	によ 入金 年末列	: り計: (取得 残高 の	算し 算し等 分割に	まついまでは、ままり、ままり、ままり、までは、までは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり	す。) 控除 控書] 記しる	の計りをす。	車の基づた	礎と 場合は 等特	なる付 こは、 別控	宅作その	
	住年 居 成10	住宅 き残るの用に1年1の月に	借入の名 は、月11	か。 金(注 き計 た日 は場合	取得)の額等	等 物	持別 打宅 作表	空除 表 入 <i>®</i>	金金の合	計算	例	該当する ※ 「伯 入金 計算に	第3 宅借 等の4	によ 入金 年末列	(取得)	算し 算し等 分割に	まついまでは、ままり、ままり、ままり、までは、までは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり	す。) 控除 細書] 記しま 宅借 100 F	の計りをする	車の基 さった。 取得) あの動	礎と 場合は 等数 万円〉	なる付 こは、 別控	宅作その	
	住年 居 政住 成住 成住 成住	住宅 借る の用 1年10 年10 年10 年10 日10 日10 日10 日10 日10 日10 日10 日10 日10 日	(だる) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株) (株	・ 金 等計 日 り り は 以場 以場 以場 に 日 た 日 た 日 た 日 た 日 た 日 た 日 た 日 た 日 た 日	取得)の額等をに対す	等 物 住年 a	持別 宅 作 末 残	空除 入の アル	金やり合	計算 の額 円	(次の 円)	該当する ※「付 入金部算 0.01	第3 宅借 等の4	によ 入金 年末列	(取得)	算()等()等()等()等()等()等()等()等()等()等()等()等()等(まついまでは、ままり、ままり、ままり、までは、までは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり	す。) 「控除」 記し 一名 100 F	の計算をする	車の基 取得) 高50	礎とに 場合に 等数 サ	なる付 こは、 別控 別拾「	宅信その	
	住年 居 成住 成住たから	住宅 借系 の 1年用 年用、同のは、同のは、同のは、同のは、同のは、同のは、同のは、同のは、同のは、同のは	(だ) 借 入の 供 月供 月31に 11: 2 に 11: 2 に 11: 3 に	い。 金 等計 日 以場 以場 1日 た年31日	取得)の額等	等物 住年 a aが2 a	特別 宅 借 末 残 	空除	金り合い	計算 ・ の額 ・ とき	(次の 円)	該当する ※「付 入金部算 0.01	第3 宅借 等の4	によ 入金 年末列	(取得)の金	算()等()等()等()等()等()等()等()等()等()等()等()等()等(まついまでは、ままり、ままり、ままり、までは、までは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり	す。) 「控除」 記し 一名 100 F	の計では、一人会社の一人会社の一人会社の一人会社の一人会社が一人会社が一人会社が一人会社が一人会社が一人会社が一人会社が一人会社が	車の基 である。 取得) 高 高 50) ,	碳と 等特数・ 万円) 00	なるは、別控制	宅信その	
	住年 居 呼居 平居ま日の	住き、の 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	(ださ) 借 入の 供 月供 月1 に 2 に 1 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に	い。 金 等計 日 以場 以場 1 日供 の	取得) の額 等 を に 1でた ()	等 特 住年 (a) (a) が2 (a) が2	特別 宅 代 末 残 2,0007	空除 入の 万円 と	金合い下の	計算 の額 とき	(次の 円) I ×	該当する ※ 「位 入金 計算に 0.01	算量等の対象を	たによう ・ 大全事の()	、り計(収得高の 分	算	まついまでは、ままり、ままり、ままり、までは、までは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり	す。) 対験 制 相配 記 を も 100 F	の計様をするのでは、大の一般を対している。	車の基 関った: 取得) 高 高 5 0 : ,	礎合 等特 (なるは、別控制の円	宅作その	
	住年 居 平居 平居ま日の場合	住 農 の 10 00まるこで 12 12に平年は紀	借入高 に 月供 月供成月3 1 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	い 金 等計 た 日た 日た年31に置	取得)の額等をようから引き、計算	等 (注 (a) (a) (a) (a) (a) (a)	特別 宅 借 末 残 2,0007	空 除	金合 から かんしょ かんしょ おおい おおい おおい おおい おおい おおい おおい おおい おおい おお	計算 を割りを を割りた。 を割りた。 を引いた。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で。 で	(次の 円) I ×	該当する ※「付 入金部算 0.01	算量等の対象を	たによう ・ 大全事の()	、り計(収得高の 分	算	まついまでは、ままり、ままり、ままり、までは、までは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり	す。) 対験 制 相配 記 を も 100 F	の計様をするのでは、大の一般を対している。	車の基 である。 取得) 高 高 50) ,	礎合 等特 (なるは、別控制の円	宅作その	
	住年 居 平居 平居ま日の場合	住 農 の 10 00まるこで 12 12に平年は紀	借入高 に 月供 月供成3 nm 1 ll l	い 金 等計 た 日た 日た年31に置	取得)の額等をようから引き、計算	等す 住年 (a) (a) (a) (a) (a) (a)	特別 宅 借 末 残 2,0007 2,0007	空除	金合いた組え	計算の額 円き 円 き 円 とき 上き	(次の 円) × I ×	該当する ※「信 入金・ 計算 0.01 0.01 0.005	算量等の対象を	たによう ・ 大全事の()	方門	算 () () () () () () () () () (まついまでは、ままり、ままり、ままり、までは、までは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり	す。) 別控 計 記 で 他 に で に に に に に に に に に に に に に	の計算をする。	車の基 思った: 取得の動 高 高 500 , ,	一様とは 等物は 等数は 「万円) 00 万円) 00	なるは、 別 控 行 円 円	宅代その	
三月 三月 10	住年 居 平居 平居ま日の場方は はんしんじゅんしん	住をで、の100のようこで	(大)	() () () () () () () () () ()	取得 (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	等す 住年 (a) a) a	宅 作	空除 青高 の 万円 以	金金(上下の)とおれている。	計算 の額 とき とき とき	(次の 円) × × ×	該当する ※「位 入金 計算。 0.01 0.01 0.005	う算式 きょう	たによう ・ 大全事の()	方 (取代) 方) 方 円	算	まついまでは、ままり、ままり、ままり、までは、までは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり	す。) 別控 計 記 で 他 に で に に に に に に に に に に に に に	の計算をする。	車の基 関った: 取得) 高 高 5 0 : ,	一様とは 等物は 等数は 「万円) 00 万円) 00	なるは、 別 控 行 円 円	宅信その	
	住年 居 平居・平居ま日の場方 仮は 成住 はんじんじょう	住 と	借入高 に 月供 月供成3 nm 1 ll l	 () () () () () () () () () ()	取の額等を行った計算	等す 住年 (a) a) a	宅 作	空 除	金合 は下の 超え	計算 等計額 とき 上き とき とき とき	(次の 円) × × ×	該当する ※ 「位 入金 計算 0.01 0.005 0.005	5 年 宅 の 細 十 き	たによう入金子子の(1)	万円	算 等 1 1 1 1 1 1 1 1 1	まついまでは、ままり、ままり、ままり、までは、までは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり	す。) 別控 計 記 で 他 に で に に に に に に に に に に に に に	の計算をする。	車の基 取得 高 高 500 , , , ,	機と: 等特: 万円) 00 万円) 00	なは、別控行	宅代その	
	住年 居 平居・平居ま日の場方 仮は 成住 はんじんじょう	住 と	(大)	 () () () () () () () () () ()	取の額等を計が行うまた。	等り 住年 (a) がご (a) がご (a) がご (a) がご (a) がご (a) がご (a) がご (a) がご (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a) (a)	宅 作 末 残 	空除	金合り合うが超え	計算 等計額 とき 上き とき とき とき	(次の 円) × × ×	該当する ※「位 入金 計算。 0.01 0.01 0.005	5 年 宅 の 細 十 き	たによう入金子子の(1)	万円	算 等 1 1 1 1 1 1 1 1 1	まついまでは、ままり、ままり、ままり、までは、までは、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり、またり	す。) 別控 計 記 で 他 に で に に に に に に に に に に に に に	の計では、入外、(最	車の基 取得 高 高 500 , , , ,	礎と 等数 + 等数 + 万円) 00 万円)	なるは、別控制 円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	宅信その	